

上越市食料・農業・農村基本計画

令和8年度～令和12年度



令和8年3月改訂



新潟県上越市

～ 当市が誇る農業・農村の価値と魅力が

これからも輝き続けるために ～

雄大な日本海と連なる山並みに抱かれた私たちのまち上越は、古来より農とともに歴史を紡いできました。頸城平野に広がる水田や里山へ続く棚田は、四季のうつろいととも私たちの暮らしと心を育ててきた地域の貴重な財産であり、その美しい景観は観光資源としての魅力と価値を有しています。

この地には今もなお、農作業にまつわる伝統行事や古くからの習わしなど、農を中心に育まれた多様な文化が息づいており、当市にとって農業は、単に食料を生産する場にとどまらず、地域の文化や価値観の形成に寄与するとともに、農村コミュニティの維持、さらには国土保全や水源かん養など、多面的機能を通じて大きな恩恵をもたらしています。

しかしながら、世界の食料を取り巻く状況は、異常気象や国際情勢の変動などにより生産・供給の不安定化が進んでいます。国内においても農業従事者の減少・高齢化や後継者不足、中山間地域の農地荒廃や鳥獣被害など、農業を取り巻く環境には多くの深刻な課題があります。

こうした状況を踏まえ、国は四半世紀ぶりに「食料・農業・農村基本法」を改正し、食料安全保障の抜本的強化や農村コミュニティの維持を基本理念に位置づけました。さらに、初動5年間で農業の構造転換を集中的に進めるため、「食料・農業・農村基本計画」を令和7年4月に策定しました。

市ではこの流れを受け、これまでの取組を振り返るとともに、情勢の変化に対応するため基本計画の見直しを行い、向こう5年間の上越市農業の羅針盤となるべき食料・農業・農村に関する施策を取りまとめました。

本計画に基づく各種施策を着実に推進していくため、国・県・農業者・事業者・関係機関・団体等と連携し、それぞれが責務と役割を果たしながら、全国をリードする食料供給基地として、持続可能な農業構造の確立と美しく活力ある農村の実現を目指してまいります。

上越市長 小菅 淳一